

会議等出席報告書

甲斐市地域公共交通会議 事務局(甲斐市経営戦略課)

会議等名	第9回甲斐市地域公共交通会議		
開催日	令和6年9月4日(水)10時30分から	場所	新館2階 防災対策室
出席者	甲斐市地域公共交通会議(瀬戸委員、池田委員(代理出席:岡)、篠原委員、菊島委員、中村委員、田中委員、進藤委員、鈴木委員(代理出席:服部、石渡)、野田委員、北田委員、沼尾委員、箭本委員、田中委員、武藤委員、宇野委員、矢野委員(代理出席:浅川)、丸山委員 事務局:酒井事務局長(経営戦略課長)、村越(経営企画係長)、藤原、三井、小林 株式会社日建設計総合研究所:安藤主席研究員、今枝研究員(WEB)、本田研究員(WEB)		
<p>1. 開 会 (司会:酒井事務局長)</p> <p>2. 会長あいさつ(瀬戸会長)</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度3回目、全体では9回目の会議となるが、本日の会議は次第のとおり、AI オンデマンド交通実証運行事業と甲斐市地域公共交通計画策定の進捗状況の報告と協議をいただくものである。・市の公共交通の未来につながる有意義な会議となるよう、皆様の知見に基づき忌憚のない意見をお願いします。 <p>3. 案 件 (議長:瀬戸会長)</p> <p>(1) AI オンデマンド交通実証運行事業の進捗状況について(説明:村越係長)</p> <p>1 停留所の選定について、6月26日開催の第8回会議で概要を説明したのですが、自治会に確認をお願いした結果、8月30日時点で確定した停留所は次の表のとおりです。分類A「自治会内停留所」は178か所、分類B「甲斐市民バス停留所」は119か所です。資料1-2「運行区域図」及び資料1-3「停留所一覧」に詳細の記載があるので、後ほどご覧ください。分類C「事業所停留所」については、スポンサーの事業所等に設置予定で100か所程度を予定しています。なお、市外への停留所の設置について、前回の会議でご意見をいただいたところでもありますが、交通事業者や乗り入れ先自治体との調整に時間を要することから本実証では実施しないこととします。ただし、利用者から要望がある場合は引き続き事業者等と協議していきたいと考えております。</p> <p>次に、2 スポンサーの募集について、公共交通の利用を通じ、地域住民、交通事業者、事業者、甲斐市の「四方良し」を目指す本事業の趣旨に協賛いただける事業者を募集するものです。表をご覧ください。プランは4つあり、プラチナプランは、料金税込み1万円を協賛いただくと、特典として停留所設置、市ホームページへの広告掲載、停留所マップへの広告掲載、車両への広告掲載とし、ゴールド、シルバー、ブロンズと金額により特典内容が変わってくるものです。募集については、市広報誌およびホームページ、また、甲斐市商工会の会員様への会報発送にチラシを同封させていただいておりますが、今後も</p>			

医師会等へ本事業の趣旨を説明し協賛いただけるようお願いしてまいります。資料1-4をご覧ください。この募集チラシを活用し広く募集をかけてまいります。なお、募集は9月2日から始まっており、応募いただいた内容につきましては、市の広告審査基準に準じて審査し広告掲載の決定をしております。

3 モビリティハブの整備について、電車、バス、タクシー、オンデマンド交通の相互の乗換需要を誘発し、公共交通全体の利用促進を図るため、JR竜王駅、敷島図書館周辺、ラザウォーク甲斐双葉次の3か所を乗り継ぎ拠点としてモビリティハブを整備します。整備内容は椅子・机等の什器設置、空間設計、利用促進イベントの開催となります。特にJR竜王駅につきましては、備考にあります株式会社良品計画と連携した整備を計画しております。良品計画は、駅舎等公共空間の活性化やまちづくりのデザイン監修等ハード面での実績に加え、地域店舗との連携による面的なサービス提供の実績があり、市内に2店舗を構えております。本事業者とは連携した事業実施が可能なため今回の整備を連携するものであります。資料1-5をお願いいたします。竜王駅モビリティハブ整備コンセプトですが、「つどい・つながる・まちのいりぐち」として公共交通の主役になる駅舎の可能性を広げ、市の新しい居場所を作るものです。なお、裏面は整備イメージとなっています。

4 運賃及びキャッシュレス決済について、運賃は前回会議でご協議いただいた表のとおりですが、フリーパスは本実証結果を踏まえた適正な料金設定を行う必要があるため、本実証では導入しないこととします。また、キャッシュレス決済について、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済に対応可能な「ペイゲイトパス」を導入する予定です。資料1-6をお願いいたします。スマレジのイメージです。マルチ決済端末であるため、1台で様々な決済に対応します。また、あらかじめ料金設定をしておくことが可能です。

5 今後のスケジュールについて、10月1日から会員登録サイト開設、申請書を配布し、会員登録受付が開始となります。また、広報10月号にて会員登録方法の周知をします。10月25日から、予約サイトおよびコールセンターを開設し予約受付開始となります。10月31日にJR竜王駅において、「かいのり」のお披露目を予定しておりますが、委員の皆様にもぜひ参加していただきたいと思っておりますので、改めて通知をさせていただきます。11月1日から運行開始、運行期間は12月22日までです。また、広報11月号と一緒に停留所マップを全戸配布いたします。

【質疑応答、意見】

委員：障がいのある方、運転免許証返納者等は手帳又は証明書の提示で半額とあるが、障がいがある方がキャッシュレス決済した場合は半額となる理解でよいか。また、手帳等を提示した方についてもキャッシュレスで支払いが可能か。

事務局：手帳等の提示による半額とキャッシュレス決済による割引の両方は適用されず、安い方の一方が適用されるのでこの場合は半額料金となる。また、半額となった料金についてもキャッシュレス決済にて支払いが可能である。

委員：料金や支払い方法について、どこかのタイミングでわかりやすく周知をお願いしたい。

委員：過日開催した民生委員児童委員の定例会において事業説明をしていただいたが、有料ではなく無料にならないかという話があった。これから事業の周知

をする際は、これだけの国の補助や予算措置があつて成り立つ将来を見据えた計画なのでご理解をというような内容を盛り込んで広報いただくとよろしいのではないかと。

会 長：おっしゃる通りで、市民バスについても料金制で運行しており、AI オンデマンド交通についても将来を見据えて料金を設定した上で運行することで補助金をいただいている。運行には経費がかかるので、財政負担があることを何らかの方法で広報していただきたい。

事 務 局：委員のご意見のとおり、補助金と言えど事業費の全てが補助金ではなく市の持ち出しがある。また、無料ではないことも併せて周知を行う。なお、利用促進のため広報の8月号から11月号まで連載で「かいのり」の特集を組んでおり、自治会や民生委員児童委員、また障がいのある方への説明と、広報10月号にも掲載するが、要望があれば出張して説明も行うのでよろしくお願ひしたい。

会 長：モビリティハブについて、JR 竜王駅は良品計画と連携して整備しイベント等を開催するとのことだが、具体的な説明は可能か。また、この事業は本会議が主体となり実施することから、委員の皆様からもこんなことがあれば面白くなる等の意見があれば伺いたい。

事 務 局：今年度の事業については、資料1-5の竜王駅モビリティハブ整備コンセプトに従い、賑わいや地域活性化につながるようなイベントや什器の設置を考えている。具体的には、乗継時間に係る待ち時間の解消やコワーキングスペースとしての活用により、乗継へのネガティブなイメージを払拭し公共交通の利用促進につなげたいと考えている。なお、イベントの詳細については現在協議中だが、朝市の会や良品計画と連携した出店等で人が滞留できるように取り組みを考えている。

会 長：斬新な取組かと思うので、皆様の団体においても周知をお願いしたい。

(2) 甲斐市地域公共交通計画策定の進捗状況について(説明：村越係長)

※資料2-1から2-3のとおり説明

1 市民アンケートについて、(1) 調査対象者は、①15歳以上の甲斐市公式ライン友達登録者約17,000名を対象にウェブ、②無作為抽出した65歳以上の高齢者500名を対象に郵送にて実施しています。(2) 調査期間は9月2日から16日まで、既に市公式ラインに投稿と郵送しています。(3) 調査内容は添付資料2-2「公共交通に関する市民アンケートご協力のお願ひ」となります。回答について、ウェブは回答フォームにて、郵送は返信用封筒により返信いただくか、インターネットでの回答も可能としています。

2 公共交通利用者アンケートについて、(1) 調査対象者は甲斐市民バスの利用者、アンケートは市民バスの車両に設置し、乗車された方にアンケート調査票を配布し回答いただきます。回答は返信用封筒かインターネットでの回答となります。(2) 調査期間は市民アンケートと同様の9月2日から16日までです。(3) 調査内容は添付資料2-3「公共交通利用者アンケートご協力のお願ひ」となります。回答は返信用封筒により返信いただくか、インターネットでの回答も可能としています。

3 今後のスケジュールですが、9月16日が回答期間の終了、10月下旬に速報値としてアンケート結果集計の完了、11月下旬に地域懇談会の開催を予定しています。これらの結果等を踏まえ、令和7年1月には計画素案の作成、パブリックコメントの実施、2月に計画策定を予定しています。アンケート結果のご報告として10月、計画素案の作成として1月、計画策定の2月に、本会議の開催を予定しています。

【質疑応答、意見】

会 長：前回会議でアンケート内容について審議し内容は決まっているという認識だがよろしいか。

事 務 局：前回会議で概ねの設問内容について協議いただいている。現在は資料2-2、2-3のとおりアンケートを配布しているところである。

会 長：委員の皆様の所属で市がアンケートをしている旨を機会があれば周知いただきたい。

委 員：10月のアンケート結果の報告とともに、アンケート結果をどのように計画素案に盛り込むかの方針も併せて説明いただくと1月の計画素案の作成に活かせると思うので可能であればお願いしたい。

事 務 局：アンケート結果がまとまったところで計画策定業務を委託している日建設計総合研究所様と一緒にアンケート結果を踏まえた計画素案について報告させていただきます。

4. その他（司会：酒井事務局長）

事 務 局：次回会議を10月下旬に開催予定なので日程が決まり次第お知らせする。
また、資料1-1の2ページに記載のある「かいのり」お披露目式について、国土交通省の補助金を活用していることから運輸支局長等にも出席いただけたらと委員からもご意見をいただいているので、ご都合がよろしければ本会議の委員の皆様にも出席いただきたい。

5. 閉 会（司会：酒井事務局長）

11時10分頃 終了